

埼玉県税務連絡協議会 会長賞

正しい納税とみんなの笑顔

所沢市立所沢中学校三年

秋吉波奈

三月十一日、誰も予想できなかった、あの東日本大震災は起きました。東北地方を中心に大きな揺れ、大津波、そして原発事故が立て続けに起きました。家族や友人をなくした人、家をなくした人、仕事をなくした人、故郷を追われてしまった人等、何十万人という人が未曾有の災害により、大きな苦しみと悲しみを味わうことになってしまいました。

地震発生から5カ月が過ぎ、被災地では、自分達の故郷を再建しようという力強い動きが出てきて、必死に頑張っている人が増えてきました。もしも、私が被災者だったら、この被災者の方々のように立ち上がり、復興のために頑張っているのでしょうか。誰かの支えや応援がなかったら、きっと心が挫けてしまつて、復興のために立ち上がることはできないと思います。

地震の後、様々な場所で義援金が募られて多くの人数から多額の好意が寄せられました。それは、とても素晴らしい事で私もコンビニの募金箱にお小遣いの一部を入れました。しかし、新聞を見ていると災害の被害金額は二十兆円近いと書いてあり、驚きました。皆が一生懸命持ち寄った義援金ではとても足りないのです。私は、これから被災した人がどうやって生活するのだろうか、考えてみましたが、あまりにも被害の規模が大きすぎて、想像すらできません

でした。

道路や港、学校、病院、家を作るだけでも莫大なお金がかかること、そのお金は日本国民全体から集めなければならぬために、国や県のお金を沢山使つて、復興を助けていかなければならないと思います。そのような国や県のお金は、会社が払う税金、会社等で働く人が払う税金、商店や農業をしている人が払う税金、車を持っている人が払う税金、そして、働いていない人も含めて、買い物をするたびに払う消費税などによって成り立っています。これらが復興資金の源になっていくのです。

被災地を復興して、人々の生活が早く元通りになれるよう、税金を有益に使つて欲しいと思います。私は、税金とは傷付いた人々や地域を助けていくための日本社会全体で贈る義援金だと思えます。なので、税金を使う立場の人には、一円の無駄もないように大切に使うべきだと思います。また、税金を納める立場の人には、自分が国民の一人であるという良心に従つて、偽りのない正しい納税をしてもらいたいと思います。

最近、私は学校の授業で、憲法について勉強しました。その中で国民の三大義務という話があり、「勤労、教育、納税」と書いてありました。私はまだ中学生なので、仕事や納税をすることはできませんが、税金で私の学校も運営されているのでしっかりと勉強をして、仕事や納税をきちんと行える立派な大人になり、復興を助けていきたいと思えます。